

子どもたちの生活	家庭での健康管理、学校での対応
登校前 登校後 学校 下校後	・家庭で検温をしてマチコミの体調管理に入力する。 ・ハンカチちり紙を必ず持たせる。 ・マスクを着用して登校。（どんな素材、柄でもかまわない。ハンカチの代用でも可。） ・換気を十分にするので、寒くないように洋服で調節できるよう配慮をする。 ・発熱 37.5℃以上やかぜ症状のある場合は、登校させず自宅で様子をみる。（6/30 まで欠席扱いにしない） ・もし早退になった場合に、誰に連絡すればよいか事前に家庭で話をしておく。 （例：「いつもはお母さんの職場だけど、今日はお母さんが遠くに出張だからお父さんの職場」など） ・登校してすぐに手洗い、うがい、健康状態の確認をする。 ・発熱 37.5℃以上、あるいはかぜ症状のある場合は、早退とする。 （37.5℃以上の発熱がなく、かぜ症状のみでも、学校で経過観察はせず早退とする。） ・早退の場合は、会議室で待機となる。 ※迎えの場合は、西門脇の砂利の駐車場に車を止め、職員通用口のインターフォンを鳴らす。 プール側の出口から引き渡しとなる。 ・けがの対応はこれまでどおり保健室で対応する。 学校での基本的な感染予防対策は以下に示す。（詳細は職員用マニュアルに記載。） ① 手洗い・うがいの徹底、給食前にアルコール消毒 （登校後、業間後、給食前、昼休み後、清掃後、トイレ後、外から校内に入った後） ② 児童の健康観察の強化（毎授業ごとに声出しで確認） ③ 換気の徹底（基本的には常時窓を開けて換気する） ④ 教室内の座席を 1.5～2 メートル以上離して配置する。 ⑤ 3密を回避し、授業中において他者との接触がある活動や飛沫がある活動は避ける。 （例：全校集会は校内放送で行う。縦割り清掃は実施せず、学級ごとに清掃を行う。） （例：体育で身体が接触する活動は不可。音楽の歌唱、楽器は不可。調理実習は不可など） （例：休み時間、サッカーの試合や鬼ごっこ等接触のある遊びは不可。カードゲーム等はしない。 遊具使用時はマスクを着用し、手洗い前に顔を触らないようにする。） ※夏季については、屋外でのマスクは熱中症予防のため着用しない。そのためマスク着用で利用できる遊具は夏季については使用を控える。 ⑥ 感染症予防について全学年で学級指導を実施する。 ⑦ 児童が使用した場所の消毒を毎日実施する。 ・帰宅したら手洗い・うがいを必ずするように声かけをする。（習慣にする） ・健康観察を行う。（顔色、かぜ症状がないか、食欲はあるか、熱くないか、疲れていないか） ・元気がないときは、よく話を聞く。心配なことがあれば翌朝学校に連絡する。 （心のケア：感染の不安や恐れなどの気持ちを受け止めてください。） ・決して無理をさせない。疲れている時やかぜの症状があるときは、早く寝させる。 （免疫力の低下を防ぐため）

このマニュアルについては、ご家庭へのお願いと学校での基本的な対応をお知らせする目的で作成しています。詳細については、職員用の感染症予防マニュアルを作成し対応しております。不明な点は養護教諭までお問合せください。なお、新型コロナウイルス感染症については日々状況が変化しているため、今後変更が生じる可能性があります。